

令和4年小田原市議会6月定例会
建設経済常任委員会資料

資 料 名	所 管 課	頁
市内事業者DX推進事業について	産 業 政 策 課	1
空き店舗等利活用促進事業について	商 業 振 興 課	2
美食のまち小田原推進事業について	観 光 課	4
観光PR事業について		6
ウクライナ避難民への支援について	小 田 原 城 総 合 管 理 事 務 所	8
歴史的風致形成建造物改修整備費補助金について	ま ち づ くり 交 通 課	9

令和4年6月10日

市内事業者DX推進事業について

1 目的

市内事業者がDX（デジタルトランスフォーメーション）化に取り組むことで生産性が向上し、地域経済が活性化するよう、普及啓発及び導入支援を行う。

2 事業概要

小田原箱根商工会議所が実施する次の事業を支援する。

(1) 講習会

市内中小企業におけるDX化の推進に向け、DX化の目的や定義など基礎知識と中小企業の取組実例を学ぶ講習会の開催

(2) 診断事業

DX化に関心を寄せ、自社活動へのDX導入について検討意欲の高い事業所に対して専門家を派遣し、事業者診断の実施

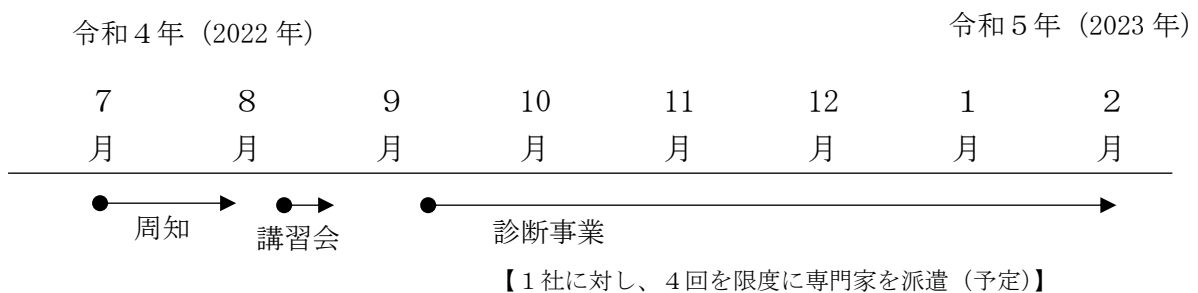
3 予算額

負担金補助及び交付金 1,000 千円

4 財源

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（10/10） 1,000 千円

5 スケジュール



空き店舗等利活用促進事業について

1 目的

事業者が出店する際の受け皿となり得る物件を増やし、魅力的な店舗の集積を図って商店街に賑わいを創出するよう、設備の老朽化等を理由に貸し出されない空き店舗等の所有者に対し、改修費の一部を補助する。

併せて、早期に顧客を獲得し、経営の安定化が図られるよう、出店者に対し、開業当初に要する広告宣伝費の一部を補助する。

2 事業概要

(1) 補助対象者等

対象者	対象経費	交付条件	補助率 (上限)
対象エリア内にある空き店舗・空き家・空き事務所の所有者	店舗として貸し出すため必要となる次の改修費等 ①店舗や事務所と居住部分に分ける工事 ②店舗内部の解体、補修 ③トイレの洋式化 ④給排水管の入れ替え、補修 ⑤雨漏りの補修	①補助金活用後 10 年間は賃貸物件として提供すること。 ②市ホームページ等において補助金活用物件として公表することに同意すること。	対象経費の 2 / 3 (100 万円)
上記物件を賃借して出店する者	開業を周知するため必要となる広告宣伝費 ①チラシ作成 ②タウン紙等掲載 ③ホームページ開設 ④SNS 広告	①近隣商店会等へ加入すること。	対象経費の 1 / 2 (10 万円)

(2) 補助対象エリア

次頁「対象エリア図」のとおり

3 予算額

5,500 千円

内訳 負担金補助及び交付金 5,000 千円 所有者への補助 1,000 千円×5 件
500 千円 出店者への補助 100 千円×5 件

4 財源

都市構造再編集中支援事業費補助金 (1/2) 2,750 千円

5 スケジュール

令和 4 年 (2022 年) 6 月下旬 補助金交付申請の受付開始
12 月上旬 補助金交付申請の事前相談期間終了

美食のまち小田原推進事業について

1 目的

食材や食文化など、豊かな地域資源を最大限活用し、「美食のまち小田原」のイメージを市内外に定着させ、観光誘客等を図る。

このため、商業者のみならず、漁業や農林業の関係者といった民間事業者などと連携し、小田原の食のブランド力を高めるとともに、飲食事業の起業へも繋げる。

2 事業概要

令和4年度(2022年度)は、プロポーザルにより支援事業者を選定するとともに、「美食のまち小田原」のコンセプトやブランディング方法を決定する。また、関連団体等との連携を強化し、商品開発、販路拡大の支援や、プロモーションの実施、情報発信体制の整備を進めるとともに、市場調査を実施する。

(1) 支援事業者選定【当初予算】

(2) 事業推進支援

ア コンセプトづくり【当初予算】

イ ブランディングの検討【当初予算】

ウ プロモーションの実施【当初予算】

エ 情報発信体制の整備 <6月補正予算>

(3) 事業推進体制の構築【当初予算】 <6月補正予算>

(4) 市場調査(イメージ調査及び消費動向調査等) <6月補正予算>

3 予算額

19,500 千円

内訳 報償費 プロデューサー謝礼
委託料 情報発信基盤整備・市場調査

4 財源

地方創生推進交付金(1/2)

5 スケジュール

項目	令和4年度											
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
コンセプト 骨子検討	・本市の現状整理 ・他地域事例研究											
(1) 支援事業者選定			事業者選定									
(2) 事業推進支援					事業推進支援							
(3) 事業推進体制 の構築			(仮称)美食のまち 推進協議会設置		推進協議会の開催							
			美食のまちづくり推進プロデューサーの登用									
(4) 市場調査					市場調査							

6 事業費の内訳

令和4年度当初予算(20,630 千円)
(地方創生推進交付金:10,130 千円)

6月補正予算
(地方創生推進交付金:1/2)

(1) 支援事業者選定

- ・ 美食のまち小田原支援事業者選定委員会
 委員報酬(183 千円)
 委員旅費等(37 千円)

(2) 事業推進支援

- ア コンセプトづくり
- イ ブランディングの検討
- ウ プロモーションの実施

(3) 事業推進体制の構築

委託料

(2) 事業推進支援

- エ 情報発信体制の整備
- ・ 特設 web サイトの制作等
 委託料

(3) 事業推進体制の構築

- ・ 美食のまちづくり推進
プロデューサー謝礼
 報償費

(4) 市場調査

- ・ イメージ調査
- ・ 消費動向調査
- ・ 波及効果の検証等
 委託料

- ・ 専門講師謝礼

報償費(150 千円)

観光PR事業について

1 目的

新たな誘客とビッグデータの取得のため、観光のデジタル化・ICT化を推進する。
観光促進のため、「いつ、どのような人が、どこに、どこから」来たのかを正確に把握できるデータを常時取得し、今後の観光振興やマーケティングに活用する。

また、新たな誘客事業として、デジタルサイネージなどを活用した情報発信や、eスポーツに着目し、エンターテインメント性が高い新たなコンテンツ造成を進め、既存のイベントと連携しつつ新たな客層へアプローチし、地域経済の活性化を目指す。

2 事業概要

(1) ビッグデータ活用による人流動向調査

スマートフォンユーザーの情報（個人情報を含まない）を収集できる端末機（ビーコン）を設置し、来場者数の計測だけでなく、これまで得られなかった滞在時間や動線などのマーケティング戦略に有益な情報を収集・分析し、活用する。

(2) 高精細動画等の活用

風景、観光スポットを高精細な機材かつ最新鋭の撮影方法で記録し、デジタルサイネージ等で発信する。

(3) eスポーツによる新たな誘客事業の造成

新たな分野であり、これから発展する流れであるため、いち早くこの分野に参入することを目指し、eスポーツによる新たなデジタルと融合した観光誘客のコンテンツの造成及び地域の機運を盛り上げるための事業を展開する。

3 予算額

39,728 千円

内訳 委託料 人流動向調査、高精細動画撮影、eスポーツコンテンツ造成
工事請負費等 eスポーツコンテンツ造成

4 財源

地方創生推進交付金（国1／2） 17,364 千円

前澤氏寄付金（ふるさと応援寄付金） 5,000 千円

※企業版ふるさと納税 5,000 千円（令和4年5月31日入金済）

5 スケジュール

項目	令和4年度								
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 人流動向調査	業者選定		設置調整			設置・データ収集分析			
(2) 高精細動画	業者選定				動画撮影		サイネージ放映		
(3) eスポーツ	業者選定		イベント調整			イベント調整			

★はイベント開催

ウクライナ避難民への支援について

1 概要

令和4年（2022年）2月24日から始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻により困難な状況におかれているウクライナの人々に対する支援として、令和4年3月26日及び27日の小田原城天守閣の入場料収入の全額を、ウクライナの避難民支援のため寄附する。

2 小田原城天守閣入場者数及び入場料収入

	入場者数	入場料収入
令和4年3月26日（土）	2,492人	993,360円
令和4年3月27日（日）	3,355人	1,332,250円
合計	5,847人	2,325,610円

3 予算額

寄附金 2,326千円

4 その他

対象の入場料収入は、令和3年度の指定管理者からの納付金として歳入し、令和4年度へ繰り越して寄附金の財源とする。

歴史的風致形成建造物改修整備費補助金について

1 事業概要

本市の歴史的風致を形成する上で必要かつ重要な歴史的風致形成建造物の保全・活用を促し、歴史的風致の維持向上を図るため、「小田原市歴史的風致維持向上計画（第2期）」において指定した民有物件の修理・復原等に係る経費を補助する。（限度額 3,000 千円）

2 対象物件の概要

- (1) 対象物件 : 濟生堂薬局小西本店
- (2) 所在地 : 小田原市本町 4 - 2 - 48
- (3) 建築年代 : 大正 14 年頃
- (4) 建造物の概要 : 木造 2 階建、寄棟造、瓦一部銅板葺
- (5) 指定等 : 国登録有形文化財（平成 14 年（2002 年）8 月 21 日登録）
: 歴史的風致形成建造物（令和 4 年（2022 年）2 月 8 日指定）

3 補助対象の概要

改修整備の内容：主屋（屋根・雨樋）の修理等

4 予算額

負担金補助及び交付金 3,000 千円

5 財源

社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）（補助率 1 / 2）1,500 千円

6 位置

